-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願い-

現在、循環器小児・成人先天性心疾患科および循環器内科では、本学で保管している診療後の診療情報等を用いて、下記の研究課題を実施しています。

この研究課題の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の研究内容の問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。なお、この研究課題の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の診療情報等を「この研究課題に対しては利用・提供して欲しくない」と思われた場合にも、下欄の研究内容の問い合わせ担当者までお申し出ください。なお研究対象者が未成年の場合には、保護者（親権者等）の方からも、お子さんの診療情報等の利用・提供を希望されない旨のお申し出をしていただくことができます。

その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

[研究課題名]　Fontan 手術後患者の副伝導路症候群に対するカテーテルアブレーションの安全性および有効性に関する検討

[研究対象者]

2000年4月から2026年3月の間に東京女子医科大学病院循環器小児・成人先天性心疾患科で副伝導路症候群に対するカテーテルアブレーションを受けた方のうち、Fontan手術を施行された方。

[利用している診療情報等の項目]

① 基本情報：年齢、性別、身長、体重、診断名、病歴、内服歴、過去の心臓手術の内容、カテーテル治療歴、治療経過

② 一般検査結果：心電図、心臓超音波検査エコー、血液検査

③ カテーテル治療：術式、副伝導路の局在、本数、電気生理学的特徴、頻拍の誘発性及びその種類、急性期治療効果、合併症の有無

④ アブレーション後の経過

[利用の目的]　（遺伝子解析研究： 無 ）

Fontan手術後患者の副伝導路症候群に対するカテーテルアブレーションの安全性および有効性について検討することを目的としています。

[研究実施期間]　倫理審査委員会承認後より2027年3月までの間（予定）

[この研究での診療情報等の取扱い]

本学倫理審査委員会の承認を受けた研究計画書に従い、お預かりした診療情報等には氏名、生年月日等の情報を削り、個人が特定されることがないように加工をしたうえで取り扱っています。

[機関長、研究責任者、および、研究内容の問い合わせ担当者]

機関長：東京女子医科大学　理事長　清水　治

研究責任者：東京女子医科大学　循環器小児・成人先天性心疾患科　助教　金城貴彦

研究内容の問い合わせ担当者：東京女子医科大学　循環器小児・成人先天性心疾患科　助教　金城貴彦

電話：03-3353-8111（応対可能時間：平日9 時～16 時）